

福島第一原子力発電所2号機
原子炉格納容器内部調査（2回目）
の実績について

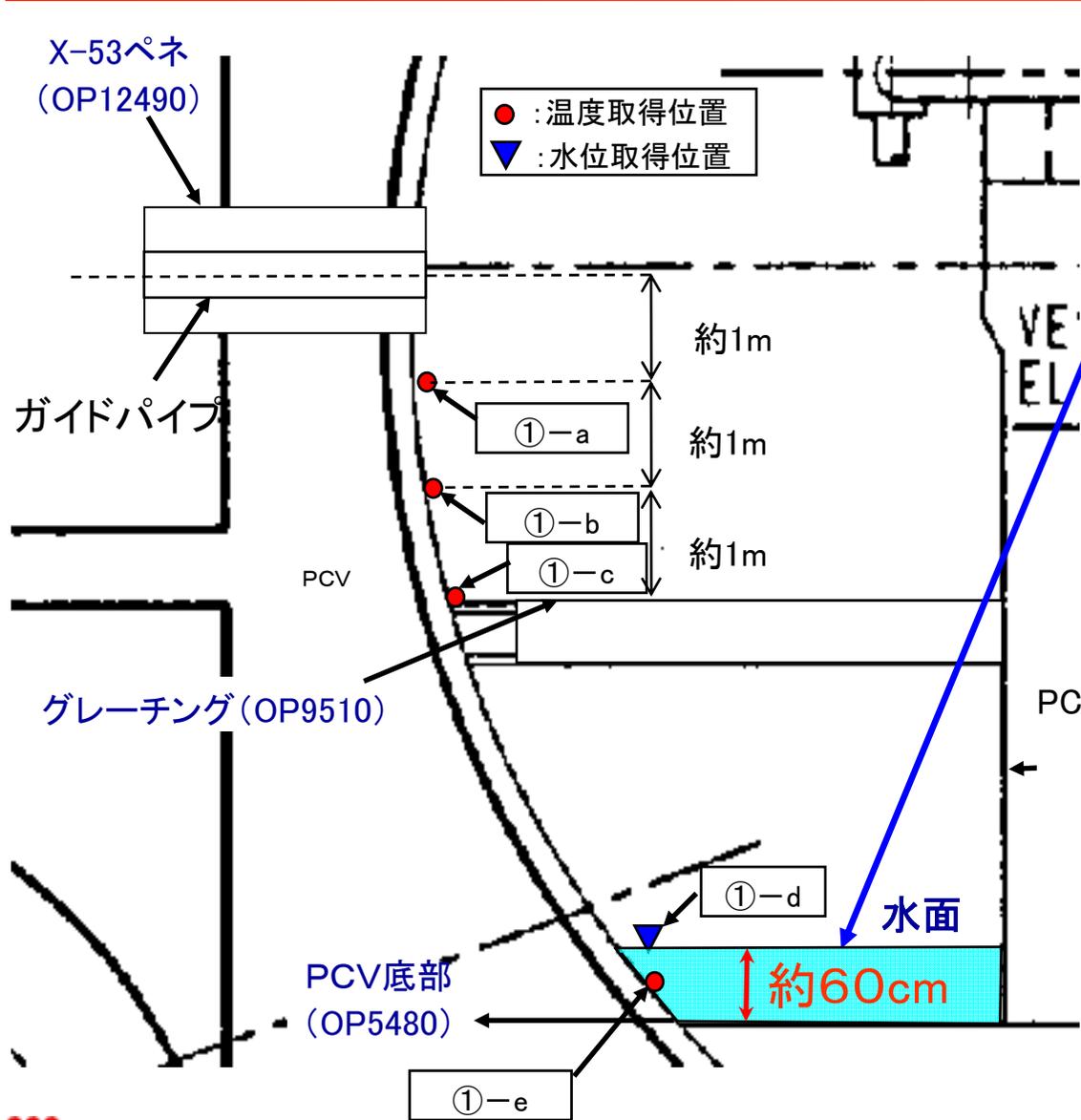
平成24年3月26日

東京電力株式会社

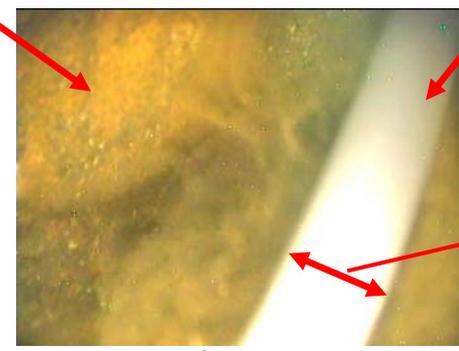


東京電力

PCV滞留水の水位・雰囲気温度

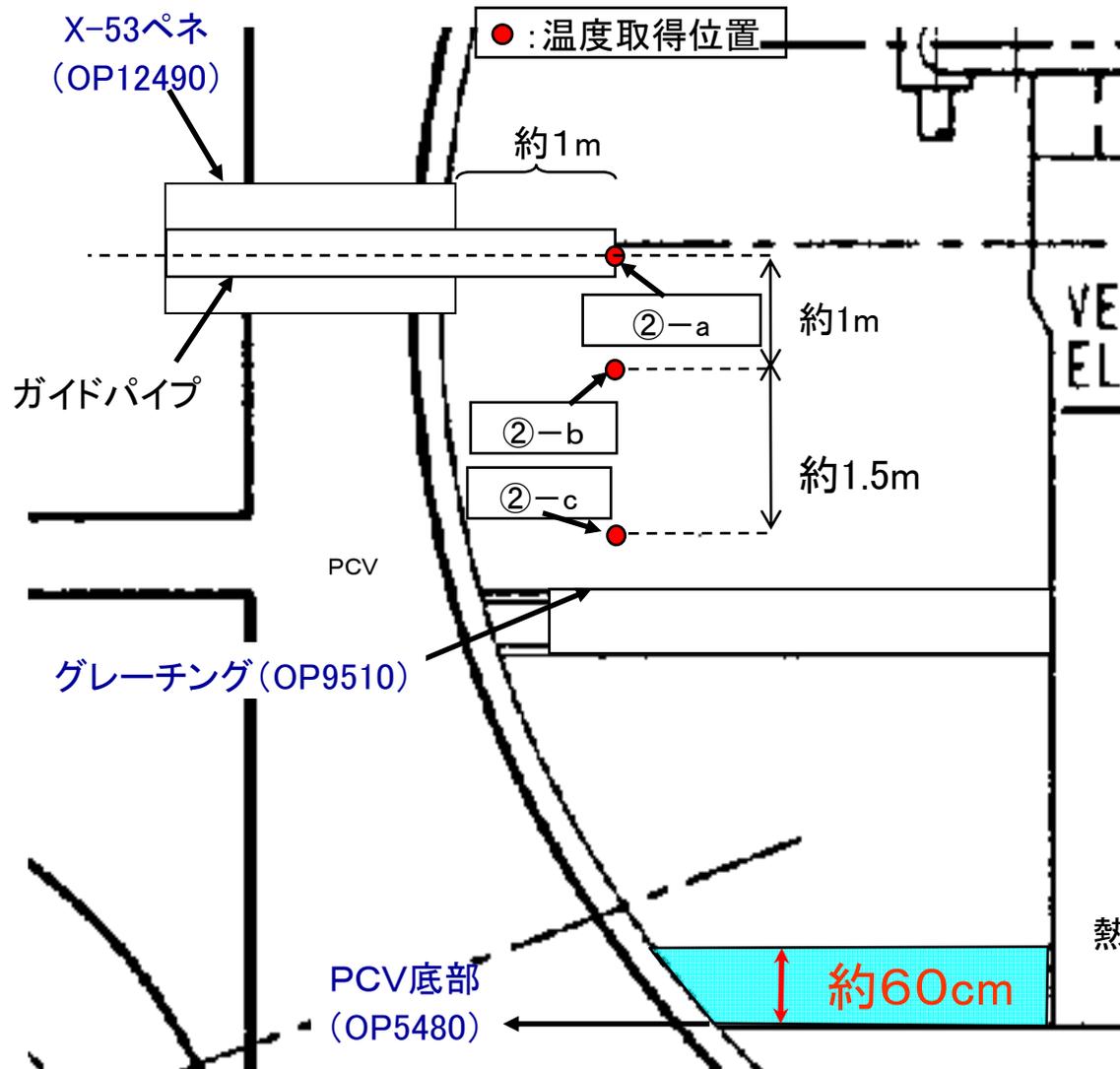


①-a	42.8℃
①-b	43.0℃
①-c	43.5℃
①-d	PCV底部より約60cm
①-e	48.5~50.0℃

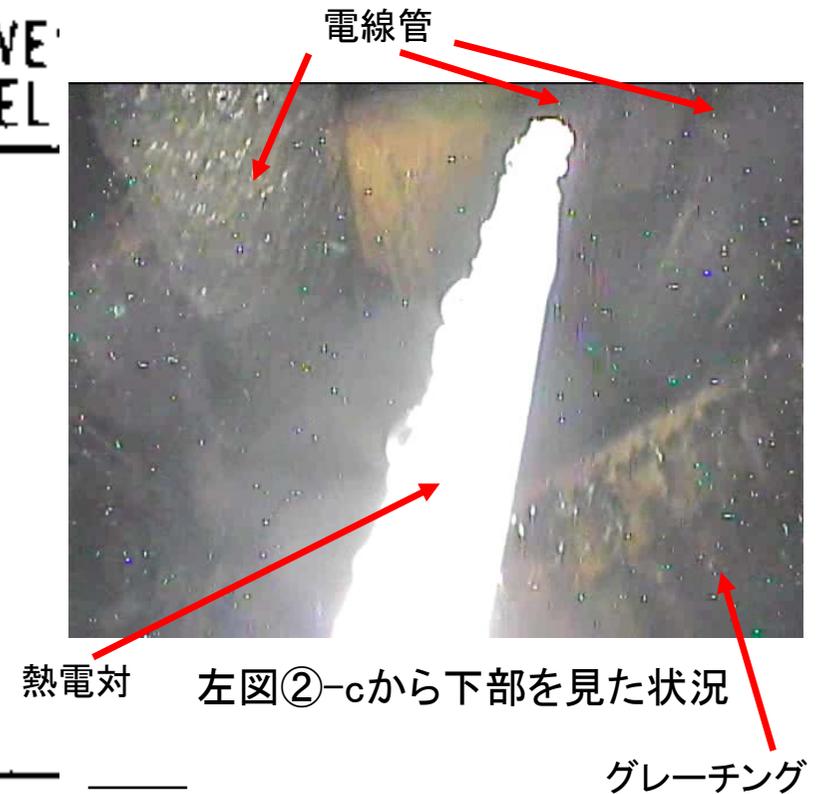


熱電対

PCV中心方向(X-53ペネより約1m)の雰囲気温度



②-a	44.9℃
②-b	44.6℃
②-c	44.5℃



本日の調査結果まとめ

- ✓ 2号機PCV内滞留水の水位はPCV底部から約60cmと推定される。
- ✓ 滞留水の水温は約48.5℃～50℃であることを確認した。
- ✓ 滞留水は透明であったが、堆積物が確認された。

本日の作業状況

作業日時：平成24年3月26日（月）9:40～12:30

技術支援：（株）東芝 殿

作業人数：当社18名、東芝16名

最大被ばく線量：5.29mSv/人・日（計画線量10mSv/人・日）



作業風景

(参考)ビデオイメージスコープ概要



表示部および操作部



カメラ先端部

<主な仕様>

挿入部の外径	Φ8.5mm(先端部外形：Φ12.7mm)
挿入部の有効長	20m
挿入部の使用温度範囲	～100℃（空气中）、～30℃（水中）
耐放射性	1000Gy